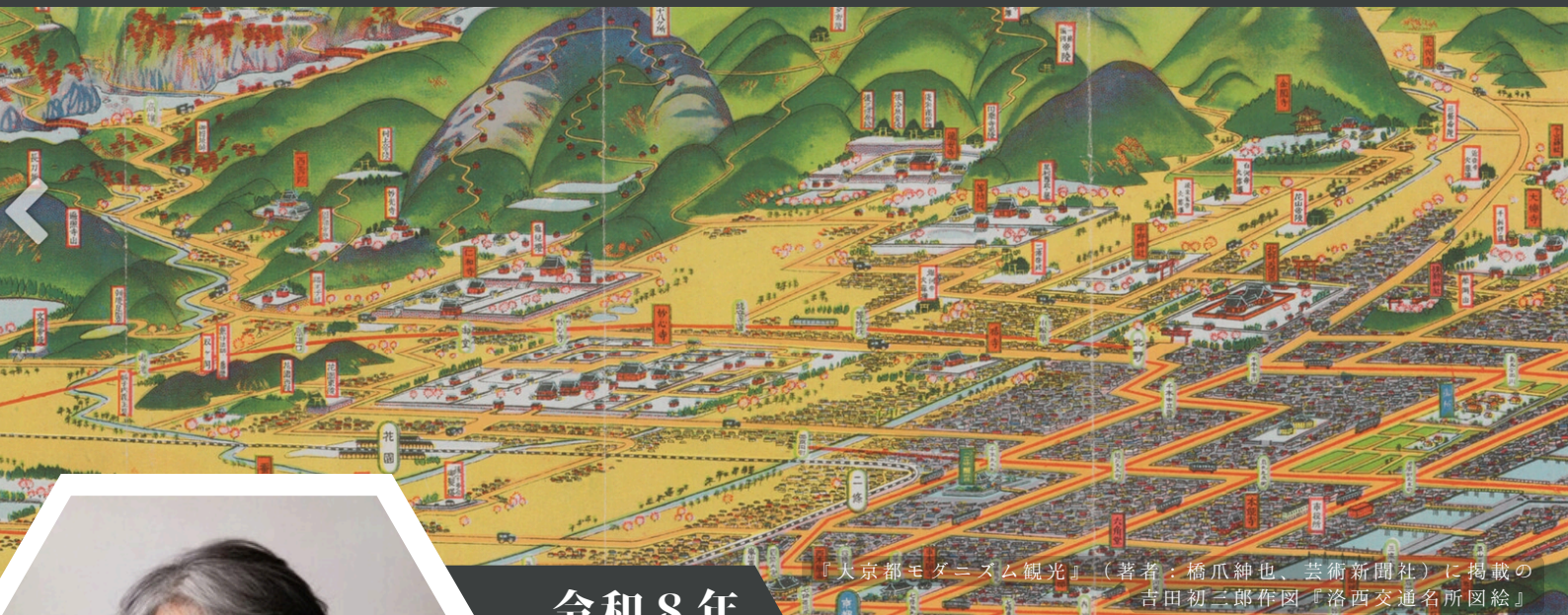




京都の未来を編む、思考と実践の結節点「京都の文化・産業・まちづくり研究会」

第2回

大阪と京都、より良いWIN-WINの関係とは



『大京都モダニズム観光』（著者：橋爪紳也、芸術新聞社）に掲載の吉田初三郎作図『洛西交通名所図絵』

令和8年

8月31日(月) 18:30~20:30



大阪公立大学名誉教授
大阪公立大学研究推進機構特任教授
大阪公立大学 大阪アーバンデザイン&マネジメントセンター所長

橋爪 紳也氏

1960年大阪市生まれ。大阪公立大学研究推進機構特任教授、大阪アーバンデザイン&マネジメントセンター所長。大阪府特別顧問、大阪市特別顧問など兼職。

京都大学工学部建築学科卒、同大学院修士課程、大阪大学大学院博士課程修了。建築史・都市文化論専攻。工学博士。

創造都市や都市文化施設、商業施設など総合的な研究を展開。観光政策の立案、市民参加型のまちづくり、地域ブランディングなどを実践。また、関西の都市政策や都市文化を研究し、大阪府と大阪市の特別顧問として万博誘致に構想段階から携わる。

『大阪万博の戦後史』『都市大阪の戦後史』『大大阪モダニズム遊覧』『大京都モダニズム観光』『瀬戸内海モダニズム周遊』『「水都」大阪物語』『広告のなかの名建築』ほか著書多数。日本観光研究学会賞、日本建築学会賞、日本都市計画学会石川賞など受賞。

「大大阪」「大京都」——かつて両都市は市域を超えた広域ビジョンで輝いていた。しかし今、大阪も京都も自市の内側に目が向きがちではないか。

都市史家・橋爪紳也氏は、淀川水系が結ぶ地理的ポテンシャルや京阪奈学研都市の知的集積を活かし、大阪・京都の都市力を関西全体の発展へと解き放つ構想を提示する。二都市の「競争」から「共創」へ——関西の未来を、参加者の皆さまとともに考えます。

第1部 18:30~ 橋爪氏 ご講演

第2部 20:00~ 交流会（軽食付き）

会場 株式会社地域計画建築研究所
京都事務所（本社）

京都市下京区四条通柳馬場西入立売中之町99番地 四条SE Tビル2階
《最寄り駅》阪急京線「烏丸駅」/地下鉄烏丸線「四条駅」
地下道15番出口より徒歩3分

定員 30名（抽選）

交流会参加費 2,000円（第1部のみご参加の場合は不要です）

お申込 8月21日(金)までに、「京都の文化・産業・まちづくり研究会」ホームページ（<https://www.kyotobunka.net/>）からお申し込みください。右記二次元コードからもアクセスいただけます。締切後はkyotobunka@arpak.co.jpまでお問い合わせください。



お問い合わせ

主催

京都の文化・産業・まちづくり研究会

TEL : 075-221-5132

共催

株式会社シー・ディー・アイ
株式会社地域計画建築研究所（アルバック）

事務局担当：大久保、倉見 MAIL : kyotobunka@arpak.co.jp

京都市中京区烏丸通二条上る蔭絵屋町256番地 関広ビル2階
京都市下京区四条通柳馬場西入立売中之町99番地 四条SE Tビル2階

《京都の文化・産業・まちづくり研究会》とは

京都で積み重ねられてきた文化、産業、まちづくりの経験と知的資産を、ただ消費するのではなく、「これからの京都」に活かしていくための研究会です。この街の現状を憂う、有識者、経済人、政策関係者が各々の立場を越えて集い、京都の街と日本の未来をリードするべく議論を重ね、日々の実践へ繋げることを目指しています。

参加者の皆さんに「日々の気づき」を持ち寄っていただくとともに、様々な分野で活躍されているゲストのご高話を触媒として、当研究会の「知のキュレーター」がもたらす化学反応をお愉しみてください。



創造的

京都府・京都市で活動し、「これからの京都の発展に貢献したい」と思う者が集い、知見を持ち寄り、戦略やネットワークを構築する創造的な場です。

広域視点

関西文化圏、あるいは日本、世界といったマクロな視点から「京都」が果たすべき役割を展望します。広く見渡し、深く研究することを目指します。

未来思考

京都の文化財を見せ物化するのではなく、いかに現代のアートや産業等と結びつけ、「文化都市・京都」の新しい価値として未来に向けて編み上げていくかを検討します。

《知のキュレーター》



関西国際大学 教授
宗田 好史氏

京都大学工学博士。イタリア国立ピサ大学留学を経て、歴史都市の保存・再生や観光政策の第一人者として活躍。京都市景観まちづくりセンター理事や市基本計画策定委員会会長等を歴任した。京都の景観保全と持続可能な観光振興の両立に向けた政策提言を精力的に行い、理論と実務の両面から地域の未来をデザインし続けている。



京都工芸繊維大学 監事
白須 正氏

1955年京都市生まれ。1978年京都大学法学部卒業、京都市入庁。京都市では産業行政分野を中心に大学政策、文化政策、京都創生など都市の活性化や政策の企画・調査を担当。産業観光局長、産業戦略監を経て2016年京都市定年退職。同年龍谷大学政策学部教授就任（2023年退職）。2024年9月から現職。



株式会社CDI 代表取締役
疋田 正博氏

1944年生まれ。1969年京都大学大学院修士課程修了（日本教育史）。「京都一中洛北高校百年史」「京都信用金庫五〇年史」執筆のあと、1973年シンクタンクCDIに入社（主任研究員）し、1979年「生活財生態学研究」で日本生活学会より第5回今和次郎賞を受ける。1985年同専務取締役研究部長、1989年同代表取締役に就任。

《主催》

京都の文化・産業・まちづくり研究会

《共催》

株式会社シー・ディー・アイ

1970年に京都で設立したシンクタンク・コンサルティングファーム。「生活文化」を基軸に、都市計画、文化政策、産業振興、環境など多角的な視点から地域社会の課題解決に取り組む。自治体の基本計画策定から文化施設の運営支援まで、質の高いソフト・ハード両面のランドデザインを手がける。

株式会社地域計画建築研究所【略称：アルバック】

1967年に京都で創業した総合シンクタンク・コンサルタント企業。都市計画、地域活性化、産業振興、環境保全など、多岐にわたる分野で官民双方のプロジェクトを支援。現場重視の姿勢と高度な専門性を強みに、持続可能な地域づくりに向けた調査・計画立案から実行支援、建築設計までを行う。